

デモクラシーのグローカリズムに向けて

0. はじめに

Aの疑問

現代の代議制・間接民主政（直接民主政の不完全な代替物）は民主政といえるのか？
→では民主政のコアとなる要素とは何か？



「十分な議論と考慮を基盤とした意見の集計」

1. ラディカル・デモクラシー論

ラディカル・デモクラシーにおけるデモクラシー観

= 不断の更新を必要とする「未完のプロジェクト」

- 代議制・間接民主主義への危機感
- ソ連崩壊に伴う自由主義的民主主義の勝利



歴史の終わりと退屈な日々（F・フクヤマ）

戦後民主主義が生んだトライアムファントな雰囲気（千葉眞）

→ 民主主義の陳腐化…永続革命としての民主主義の必要性（丸山眞男）

民主主義のような言葉は、衆目が一致する定義はどこにもないだけでなく、定義づけようとする試みもあらゆる方向からの抵抗に合う。民主主義国家と言えはその国を賞賛しているという見方はあまねく知られている。その結果、あらゆる類の政党を守ろうとする人々は、それこそが民主主義であると主張し、それを一つの意味に結びつけてしまうとこの言葉を使えなくなるのではないかと恐れるのである。（出典：ジョージ・オーウェル『政治と英語』）

2. 討議民主主義について

J・ハーバーマスの市民社会論から討議・熟慮(Deliberative)民主主義へ

市民の意見に対する熟慮と討議

…代議制=J・シュンペーター的エリート主義へのアンチテーゼ

デモクラシーの2つの回路（篠原一）

1. 代議制デモクラシー
2. 参加と討議を重視するデモクラシー

討議倫理の要素

1. 各方面の公平・正確な情報の提供
2. 小規模なグループ（流動的であることが望ましい）
3. 頭数を数えるだけの議論にならないこと
4. サンプリングの透明性

3. ネットにおける政治的言論空間

- N・ルーマンのコミュニケーション観
- 情報民主主義（平等な発信基盤、物理的・時間的障壁の低減）
 - 現実的な参加意識の問題
- 政治的言論空間の技術的 ReMix
- 集合知(The Wisdom of crowds)について：F・ハイエク的市場、予測市場、集団討議…
- ヘッドからテールへの移行
- 情報化社会論を巡るユートピアとディストピア
- ナショナル・デモクラシーを超えて

4. おわりに

【参考文献】

- 千葉眞（著）『デモクラシー 思考のフロンティア』、岩波書店、2000年
- 井上達夫（編）『岩波 新・哲学講義 7 自由・権力・ユートピア』、岩波書店、1998年
- C. ダグラス・ラミス（著）加地永都子（訳）
『ラディカル・デモクラシー 可能性の政治学』、岩波書店、1998年
- 杉田敦（著）『デモクラシーの論じ方 論争の政治』、ちくま新書、2001年
- 篠原一（著）『市民の政治学 討議デモクラシーとは何か』、岩波新書、2004年
- 梅田望夫（著）『ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる』、ちくま新書、2006年

【参考ウェブサイト@accessed to confirm on 2006/07/02】

- 慶應義塾 OpenCourseWare：政治学基礎Ⅰ
http://ocw.dmc.keio.ac.jp/j/law/03B220_politics/lecture_content/theme09.html
- ised@glocom
<http://ised.glocom.jp/>
- 大屋雄裕ウェブサイト
<http://www.nomolog.nagoya-u.ac.jp/~t-ohya/>